

みんなで取り組む ごみの減量化で SDGs

ごみの減量化はごみ処理費用の削減につながり、町にも、皆さんにも良いことです。そして未来の地球のためにもなります。ごみの減量化に取り組んで、始めませんかSDGs。



action 01

草や枝木なども資源ごみに

家庭で出た、草や枝木、落ち葉なども資源ごみに出すことができます。可燃ごみとして処理するよりもコストが下がります。

action

草や枝木を資源ごみに出す



※草や枝木はリサイクルステーションに出すか、量が多い場合は役場安全安心課に事前連絡し業者に自己搬入してください。また、地区の可燃ごみステーションに出す場合(3袋まで)は乾かしてから出してください。

action 02

雑がみの分別リサイクル

雑がみを含む、紙ごみは資源になります。可燃ごみとして出せば、費用が掛かるものも、資源ごみとして出せば売却でき、ごみ処理費用の削減効果は高まります。

action

意識して紙ごみを分別



雑がみを紙袋に入れて分別すると楽

action 03

古着・古布は資源ごみに

汚れていない古着・古布は資源ごみの一つです。回収された古着・古布はリユースやリサイクルされて活用されます。衣類は重量があるので、ごみの減量化にも効果大です。

action

古着・古布はリサイクルステーションに持ち込む



汚れていない衣類は袋に入れてまとめて出す

不要なものを再生 マーブルクレヨンで SDGs

使わなくなったクレヨンで新しい再生クレヨンを作る『マーブルクレヨン』。この活動でSDGsの取り組みを進める人たちがいます。この活動に参加して、始めませんかSDGs。



【町協働のまちづくり事業】 家で不要になった クレヨンを回収します

地域活性プロジェクトMAYKでは、不要になったクレヨンを新しいクレヨンに再生するプロジェクト「マーブルクレヨンでSDGs」を実施します。使わなくなったクレヨンの提供にご協力ください。

- ▶回収期限 12月24日(金)
- ▶回収方法 不要になったクレヨンを箱ごと専用の回収ボックスに入れる
※箱が無い場合は袋などにまとめてください。
- ▶回収場所 役場生涯学習課、中央公民館、長柄公民館、高島公民館、南児童館、北児童館、中央児童館、東児童館
- ▶問合せ 地域活性プロジェクトMAYK (田村) ☎070-1250-0921

子どもたちにとって身近なクレヨンで再生クレヨンを作るこのプロジェクトは、リサイクルやSDGsに触れるきっかけ作りと、学校や家庭での学びのサポートになればと企画しました。完成品は子どもたちにプレゼントする予定です。

地域活性プロジェクトMAYK
代表 田村 友莉香さん
(下中野・1区)



地球温暖化や貧困格差の拡大、戦争や内乱など、地球上には個人では解決しきれない課題がたくさんあります。そんな課題を解決しようと、国連加盟国が2015年に採択し、2030年までに達成するべき17の目標を決めたのが『SDGs (Sustainable Development Goals)』です。

町可燃ごみの処理費用は約1億8千万円(令和2年度)で、町民一人当たり年間約7千円となっています。ごみの量が増えるこの費用も増えていく一方です。そのためにも、ごみの量を減らしていくことは大切。一人一人がごみの減量化を意識することで変わっていきます。

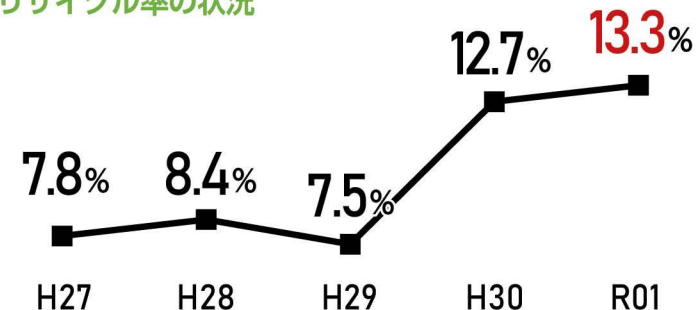
「一見一人の行動だけでは「未来の地球のためにつながっていないの？」と思うかもしれませんが、積み重なれば、効果は大きくなります。あなたのごみの減量化の取り組みこそが「SDGs」への第一歩。未来のための行動につながっています。

数字で見る リサイクルの現状

リサイクルステーションの利用者数 (1日平均)



リサイクル率の状況



はじめ、身近に リサイクルで SDGs Recycle

個人でもできる!
SDGsの取り組み

取り組んでみませんか。
まちの「よみ」の現状

リサイクルステーションで ごみの減量化にご協力を

- ▶回収日 平日または第2・4土曜日(祝日除く)
- ▶回収時間 午前9時~11時30分、午後1時~3時
- ▶回収場所 おうら中央公園西駐車場倉庫
- ▶回収できるものの種類



- ※1 汚れものや布団は不可。
- ※2 なべやフライパンなど家庭で使われていたもの。
- ※3 太さ6cm・長さ60cm以内。その他、量が多いものや大きいものは回収業者に自己搬入してください。なお自己搬入の際には事前に役場安全安心課まで連絡してください。

問合せ 役場安全安心課 ☎47-5036